



2021年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月17日

上場会社名 株式会社サカイホールディングス
 コード番号 9446 URL <http://sakai-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥田 貴将
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山河 和博
 四半期報告書提出予定日 2021年5月17日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 052-262-4499

2021年6月28日

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	7,644	7.8	540	1.8	530	14.4	381	74.0
2020年9月期第2四半期	8,287	4.4	550	41.1	463	56.9	219	21.9

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 481百万円 (846.2%) 2020年9月期第2四半期 50百万円 (588.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	37.05	36.74
2020年9月期第2四半期	21.39	21.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	27,368	4,100	13.6
2020年9月期	27,972	3,748	12.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 3,733百万円 2020年9月期 3,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		12.50		12.50	25.00
2021年9月期		12.50			
2021年9月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,988	4.4	1,222	18.8	1,127	15.7	587	23.8	57.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年9月期2Q	10,956,500 株	2020年9月期	10,956,500 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年9月期2Q	643,167 株	2020年9月期	655,167 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年9月期2Q	10,309,113 株	2020年9月期2Q	10,263,774 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、政府による経済対策等により持ち直しの動きが見られましたが、さらなる感染拡大により緊急事態宣言が発出されるなど、先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は7,644百万円（前年同四半期比7.8%減）、営業利益は540百万円（前年同四半期比1.8%減）、経常利益は530百万円（前年同四半期比14.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は381百万円（前年同四半期比74.0%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①再生可能エネルギー事業

本事業におきましては、現在太陽光発電所15ヶ所（内1ヶ所は子会社のエスケーアイ開発株式会社が運営）が順調に稼動しております。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,081百万円（前年同四半期比19.2%増）、営業利益が436百万円（前年同四半期比33.5%増）となりました。

②移動体通信機器販売関連事業

本事業におきましては、2019年10月施行の電気通信事業法の改正に伴い、端末代金の値引きに関する規制が示されました。2020年3月下旬には都市部を中心に高速・大容量が特徴の次世代通信規格「5G」のサービスが開始されましたが、各社から廉価版の携帯の発売も開始され価格競争が激化しております。このような事業環境の中、当社グループは、効率的な店舗運営を目的とした店舗出店のドミナント化を推進し、近接店舗との連携を強化しました。しかしながら、携帯電話利用者の使用期間が長期化する他、新型コロナウイルス感染防止の一環として、来店者並びに従業員の安全と健康の維持を目的とした予約制の導入、ソーシャルディスタンスの確保による、密の低減等を講じた影響等により、販売台数は新規・機種変更を合わせ47,576台（前年同四半期比8.3%減）となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,344百万円（前年同四半期比17.9%減）、営業利益は307百万円（前年同四半期比56.8%減）となりました。

③保険代理店事業

本事業におきましては、コールセンターを拠点とした保険代理店事業を子会社である株式会社セントラルパートナーズが複数の保険会社の商品を取り扱い展開しております。当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染防止のため、在宅勤務を推進するとともにコールセンターの効率性を高め、旅費交通費や販売促進費等の削減により収益力を向上させました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は564百万円（前年同四半期比45.9%増）、営業利益は37百万円（前年同四半期は133百万円の営業損失）となりました。

④葬祭事業

本事業におきましては、子会社であるエスケーアイマネジメント株式会社において、葬儀会館ティア9会館の運営を行っております。当面の新型コロナウイルス感染防止の影響とともに、低価格商材を推進する競合他社の出現により、葬儀件数、法要件数は前期にオープンした会館の数に比例し増加しましたが、1件あたりの単価の低下が見込まれる状況であります。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は471百万円（前年同四半期比8.7%増）、営業利益は37百万円（前年同四半期比4.9%増）となりました。

⑤不動産賃貸・管理事業

本事業におきましては、子会社であるエスケーアイ開発株式会社において、大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を名古屋市千種区にオープンしておりますが、新型コロナウイルス感染症による駐車場周辺店舗の営業時間短縮、営業自粛等の影響から稼働率が低下し、売上減少に繋がっております。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は36百万円（前年同四半期比4.0%減）、営業利益は5百万円（前年同四半期比37.5%増）となりました。

⑥ビジネスソリューション事業

本事業におきましては、子会社であるエスケーアイフロンティア株式会社において新電力と携帯電話の法人市場への販売を積極的に行っております。新型コロナウイルス感染の状況、新電力料金の安定化などを注視しながら慎重に営業を進めつつ、採用および教育による人員の増強と経費削減の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は153百万円（前年同四半期比552.8%増）、営業利益は30百万円（前年同四半期は16百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は27,368百万円となり、前連結会計年度末の資産合計27,972百万円と比べ603百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が643百万円、有形固定資産が465百万円減少した一方で、売掛金が285百万円、商品が265百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は23,268百万円となり、前連結会計年度末の負債合計24,223百万円と比べ955百万円減少しました。これは主に、未払法人税等が189百万円、社債が185百万円、長期借入金が694百万円減少した一方で、短期借入金が100百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は4,100百万円となり、前連結会計年度末の純資産合計3,748百万円と比べ351百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が241百万円、その他有価証券評価差額金が57百万円、繰延ヘッジ損益が34百万円増加したことなどによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の増加と投資活動による資金の増加を財務活動による資金の減少に充てた結果、前連結会計年度末に比べ644百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末は4,235百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は301百万円(前年同四半期は1,123百万円の増加)となりました。これは税金等調整前四半期純利益が620百万円(前年同四半期は426百万円)となり、また、減価償却費で495百万円の資金の増加となったものの、棚卸資産の増減額で265百万円、前受金の増減額で95百万円、法人税等の支払額で445百万円の減少となったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は7百万円(前年同四半期は273百万円の減少)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が64百万円あったものの、有形固定資産の売却による収入が34百万円、差入保証金の回収による収入が32百万円あったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は952百万円(前年同四半期は504百万円の減少)となりました。これは長期借入金の返済による支出が688百万円、社債の償還による支出が235百万円あったことなどによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の業績予想につきましては、2020年11月16日に発表しました「2020年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後の見通しにつきましては、引き続き検討を行い、連結業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示するものであります。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,001,373	4,357,715
売掛金	2,520,343	2,805,488
商品	404,359	669,855
その他	195,356	175,183
流動資産合計	8,121,432	8,008,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,560,466	2,453,385
機械装置及び運搬具(純額)	10,262,227	9,914,466
土地	3,662,988	3,662,988
その他(純額)	71,868	61,414
有形固定資産合計	16,557,550	16,092,254
無形固定資産		
のれん	1,254,410	1,211,767
その他	495,995	479,260
無形固定資産合計	1,750,405	1,691,027
投資その他の資産		
その他	1,550,515	1,585,145
貸倒引当金	△7,884	△7,884
投資その他の資産合計	1,542,631	1,577,261
固定資産合計	19,850,587	19,360,543
資産合計	27,972,020	27,368,786
負債の部		
流動負債		
買掛金	583,908	879,104
短期借入金	4,490,000	4,590,000
1年内償還予定の社債	420,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	1,391,539	1,397,216
未払法人税等	404,881	215,578
賞与引当金	144,142	140,933
その他	737,445	509,837
流動負債合計	8,171,916	8,102,670
固定負債		
社債	725,000	540,000
長期借入金	14,408,318	13,714,308
繰延税金負債	31,030	63,308
役員退職慰労引当金	165,400	182,822
退職給付に係る負債	125,517	125,204
資産除去債務	304,109	298,483
その他	291,835	241,254
固定負債合計	16,051,210	15,165,381
負債合計	24,223,126	23,268,052

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	747,419	747,419
資本剰余金	684,918	684,918
利益剰余金	2,661,883	2,903,571
自己株式	△839,158	△823,788
株主資本合計	3,255,062	3,512,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	309,123	366,690
繰延ヘッジ損益	△180,186	△145,446
その他の包括利益累計額合計	128,936	221,243
新株予約権	7,814	7,336
非支配株主持分	357,080	360,033
純資産合計	3,748,893	4,100,733
負債純資産合計	27,972,020	27,368,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,287,221	7,644,265
売上原価	5,315,790	4,752,364
売上総利益	2,971,431	2,891,900
販売費及び一般管理費	2,420,845	2,351,090
営業利益	550,585	540,809
営業外収益		
受取利息	108	26
受取配当金	13,761	13,766
受取保険金	14,339	11,871
投資有価証券売却益	854	—
営業支援金収入	30,000	73,320
その他	10,371	20,060
営業外収益合計	69,436	119,044
営業外費用		
支払利息	93,537	100,125
融資手数料	30,269	21,766
社債発行費	9,711	—
その他	23,122	7,904
営業外費用合計	156,641	129,796
経常利益	463,380	530,058
特別利益		
固定資産売却益	—	19,812
合意解約金	—	100,000
特別利益合計	—	119,812
特別損失		
固定資産売却損	—	2,705
固定資産除却損	6,454	1,966
減損損失	30,689	24,942
特別損失合計	37,143	29,614
税金等調整前四半期純利益	426,236	620,256
法人税等	260,542	230,588
四半期純利益	165,694	389,668
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△53,809	7,741
親会社株主に帰属する四半期純利益	219,503	381,927

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	165,694	389,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△135,067	57,567
繰延ヘッジ損益	20,312	34,739
その他の包括利益合計	△114,755	92,306
四半期包括利益	50,939	481,975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,748	474,233
非支配株主に係る四半期包括利益	△53,809	7,741

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	426,236	620,256
減価償却費	456,070	495,624
のれん償却額	15,875	42,642
減損損失	30,689	24,942
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,250	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,654	△3,208
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,250	△52,500
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	16,550	17,422
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,339	△312
合意解約金	—	△100,000
受取利息及び受取配当金	△13,870	△13,792
支払利息	93,537	100,125
社債発行費	9,711	—
固定資産除売却損益(△は益)	6,454	△15,140
投資有価証券売却損益(△は益)	△854	—
売上債権の増減額(△は増加)	84,866	△285,144
たな卸資産の増減額(△は増加)	47,954	△265,496
仕入債務の増減額(△は減少)	19,631	295,196
未払金の増減額(△は減少)	△29,886	△13,079
前受金の増減額(△は減少)	△122,899	△95,368
未収消費税等の増減額(△は増加)	269,873	10,959
未払消費税等の増減額(△は減少)	138,324	△48,637
その他	18,361	18,400
小計	1,444,315	732,887
利息及び配当金の受取額	13,865	13,787
合意解約金の受取額	—	100,000
利息の支払額	△96,784	△99,943
法人税等の支払額	△237,937	△445,420
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,123,459	301,311
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△600	△600
有形固定資産の取得による支出	△103,998	△64,586
有形固定資産の売却による収入	—	34,290
無形固定資産の取得による支出	△10,949	△3,300
事業譲受による支出	△150,000	—
投資有価証券の売却による収入	854	—
保険積立金の解約による収入	—	30,311
差入保証金の差入による支出	△18,835	△7,508
差入保証金の回収による収入	2,323	32,226
預り保証金の受入による収入	342	712
その他	6,968	△14,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△273,893	7,301

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△420,000	100,000
長期借入れによる収入	455,997	—
長期借入金の返済による支出	△600,467	△688,333
社債の発行による収入	440,288	—
社債の償還による支出	△250,000	△235,000
配当金の支払額	△127,653	△128,170
非支配株主への配当金の支払額	△5,985	△4,788
ストックオプションの行使による収入	3,135	3,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△504,684	△952,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	344,882	△644,258
現金及び現金同等物の期首残高	4,174,062	4,879,820
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	13,816	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,532,761	4,235,562

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売関 連事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	ビジネスソ リューション 事業	計		
売上高									
外部顧 客への 売上高	906,898	6,506,146	386,760	433,863	30,013	23,538	8,287,221	—	8,287,221
セグメ ント間 の内部 売上高 又は振 替高	—	—	—	—	7,814	—	7,814	△7,814	—
計	906,898	6,506,146	386,760	433,863	37,828	23,538	8,295,036	△7,814	8,287,221
セグメン ト利益 又は損失 (△)	327,166	713,139	△133,683	36,179	4,363	△16,909	930,256	△379,670	550,585

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△379,670千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△384,286千円、その他の調整額4,615千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「葬祭事業」セグメントにおいて、大丸石材産業株式会社が営む葬祭事業の譲受に伴い、のれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は57,833千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売関 連事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	ビジネスソ リユーショ ン事業	計		
売上高									
外部顧 客への 売上高	1,081,289	5,344,142	564,280	471,456	29,428	153,669	7,644,265	—	7,644,265
セグメン ト間の 内部 売上高 又は振 替高	—	—	—	—	6,875	—	6,875	△6,875	—
計	1,081,289	5,344,142	564,280	471,456	36,303	153,669	7,651,140	△6,875	7,644,265
セグメン ト利益	436,762	307,958	37,587	37,969	5,998	30,923	857,199	△316,389	540,809

(注) 1. セグメント利益の調整額△316,389千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△328,054千円、その他の調整額11,665千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「保険代理店事業」セグメントにおいて、24,942千円の固定資産の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。